広島大学広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2
TEL：082-424-4518 FAX：082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

NEWS RELEASE

広島大学

令和８年 11 月５日

総合博物館、開館 20 周年で初の図録を刊行

～被爆を免れた標本、キャンパスの自然と歴史他、選りすぐり約 200 点を紹介～

情報提供

広島大学総合博物館※1は、開館 20 周年を記念し、初の図録『Message ー標本が伝える世界ー』を刊行します。広島大学全体で約 125 万点、うち総合博物館で約 3 万点を所蔵する標本の中から、選りすぐりの約 200 点を写真と解説で紹介します。地質・地理、動植物、歴史・考古資料、研究機器類など幅広い分野を取り上げ、標本とその背景にある物語を伝えます。開館から 20 年の節目に、標本が伝える自然や歴史、人々の営みに触れ、その物語に思いをはせていただきたいと考えています。

【ポイント】

〇大学所蔵標本から約 200 点を選び、その背景にある物語を写真と解説で紹介。

〇被爆を免れて受け継がれた標本や、今では収集・作製できない標本などを収録。

〇キャンパスの自然・遺跡から博物学の先駆者まで、大学の知の蓄積を一冊に。

【特色】

〇受け継がれた標本が伝える歴史

広島大学の前身諸学校において昭和 20（1945）年８月６日の原爆による被害を免れた標本をはじめ、今では収集や作製ができない標本、新たな技術や視点で生まれた標本、新たな価値・評価が見いだされる標本を紹介します。

〇自然と遺跡が息づくキャンパス

約 250 万 m^2の広さの東広島キャンパスには、100 種を超える絶滅危惧種を含む 2,000 種以上の動植物が生息し、旧石器時代から近代まで約 40 カ所の遺跡があります。キャンパスに広がる自然と歴史を写真と解説で紹介します。

〇博物学を切り開いた人々の足跡

本学における博物学の先駆者 7 人を紹介。標本とともに受け継がれてきた研究の歩みにも触れます。

【主な構成】

１　キャンパスまるごと博物館
２　発見の小径ー自然共生サイトー
３　原爆と広島大学
４　標本と総合博物館（地質・地理、動物・植物、歴史資料、考古資料、研究機器類）
５　博物学七人の先駆者（乾環、今村外治、藤原健蔵、稲葉明彦、佐藤月二、堀川芳雄、松崎壽和）

【書籍情報】



書　名：　Message－標本が伝える世界－
　　広島大学総合博物館２０周年記念図録
編著書：　広島大学総合博物館
出版社：　広島大学出版会
刊行日：　令和８（2026）年 11 月 11 日
判　型：　A5 判
頁　数：　136 頁　紙書籍のみの販売
定　価：　2,200 円（2,000 円+税 10%）
ISBN　：　978-4-903068-90-9
購入先：　広島大学生協（082-423-8285）、全国の書店、
　　ネットストア、Amazon

【※1 広島大学総合博物館について】

広島大学総合博物館は平成 18（2006）年 11 月に開館。約 250 万 m^2の東広島キャンパス全体を「キャンパスまるごと博物館」と捉え、本館、学内の展示拠点「サテライト」、野外の「発見の小径」を通じ、自然や歴史、研究の魅力を伝えています。大学全体で受け継ぐ約 125 万点の標本・資料は、新たな発見を生む研究資源です。平成 28（2016）年には内閣総理大臣から「歴史資料等保有施設」、平成 30（2018）年には文部科学大臣から「博物館相当施設」の指定を受け、さらに令和６（2024）年には「発見の小径とその周辺ゾーン」が環境省の「自然共生サイト」に認定されました。学生も展示や生物調査に参加し、大学の知と豊かな自然を地域の人々の学びにつないでいます。

【内容・取材についてのお問い合わせ先】

広島大学総合博物館　准教授　展示情報・研究企画部門長　清水　則雄
Tel：082-424-4439　Fax：082-424-4263
E-mail：norios@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：Ａ４版　２枚